

都立大森高等学校(全) 平成31年度 教科 公民 科目 政治・経済 年間授業計

教科:公民 科目:政治・経済 単位数: 2単位

対象学年組:第3学年A組～F組

教科担当者:(A～F組:宮路)

使用教科書:最新 政治・経済 新訂版(実教出版)

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4 月	現代の政治 現代国家と民主政治 ・民主政治の基本原 理 ・法の支配	・人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分 立、法の支配など民主政治の基本原則などについて 理解を深める。	・民主政治の本質や現代 政治の特質を意欲的に 追究しようとしている。 ・国民主権を原理とする 民主政治の本質や現代 政治の様々な特質につ いて多面的・多角的に考 察し、その過程や結果を 様々な方法で表現してい る。	6
5 月	・民主政治のしくみ ・世界の政治制度 日本国憲法と基本的 人権 ・日本国憲法の成立	・民主政治における個人と国家について考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる 倫理について自覚を深め、主権者としての意識を身 に付ける。 ・日本国憲法の成立過程について理解を深める。	・現代政治の特質に関す る情報を収集し、適切に 活用できる。 ・民主政治の基本的な概 念や理論を理解し、その 知識を身に付けている。 ・主権者として憲法成立 過程を意欲的に追究しよ うとしている。	6
6 月	・日本国憲法の基本 原理 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・ 請求権 ・新しい人権 ・人権の広がり と公 共の福祉	・日本国憲法に定める基本的人権の保障について理 解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊 厳と平等などについて考察する。	・基本的人権の保障の内 容について考察しようとし ている。 ・人権問題を多面的・多 角的に考察し、根拠と考 察を様々な方法で表現し ている。	8
7 月	現代の政治 日本の平和主義と国 際平和 ・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制 の変化 ・21世紀の平和主 義 ・日本の外交と国際 社会での役割	・日本国憲法が規定する基本的人権の保障について 考察する。 ・平和主義について理解を深める。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解する とともにこれからの防衛政策について考察する。	・平和主義、安全保障に ついて理解し、その知識 を身に付けている。 ・平和主義の内容を意欲 的に追究しようしてい る。 ・安全保障の問題を多面 的・多角的に考察し、根 拠と考察を様々な方法で 表現している。 ・安全保障の問題の時事 的な資料を収集し、適切 に活用できる。	6

8月				0
9月	現代の国際政治 ・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・第二次世界大戦後の国際政治 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍拡競争から軍縮へ	・国際法の意義について理解する。 ・国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 ・第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解するとともに、国際的な人権保障の現状を理解し、人権問題の解決について考察する。 ・核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。	・国際政治への関心が高まっている。 ・国際政治の課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・国際政治の時事的事象の情報を適切に選択し、活用している。 ・国際政治を理解し、その知識を身に付けている。	6
10月	現代の経済 現代の経済社会 ・経済社会の変容 ・経済主体と市場の働き ・企業の役割	・経済の主体と経済活動の意義、現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解し、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。	・現代の経済社会への基本的問題について関心を高め、意欲的に課題を追究している。 ・経済活動に対する責任など、現代の経済社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、公正に判断して、適切に表現している。	8
11月	・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・金融、政府の役割と財政、租税について理解を深め、日本の経済政策の方向性を考察する。	・現代経済の諸問題の資料を収集し、幸福・正義・公正などの視点から適切に選択して活用している。 ・市場経済の意義と機能その限界など、現代経済の基礎的な知識や学び方を身に付けている。	8
12月	現代の日本経済と福祉の向上 ・戦後復興から高度経済成長へ ・安定成長からバブル経済へ ・日本経済の課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利	・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の中小企業や農業の現状を理解し、その課題を考察する。 ・消費者の立場や権利を確認し、消費者保護について考察する。 ・公害の発生原因と対策を通して、環境への取り組みや循環型社会について考察する。 ・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	・現代の日本経済の動向や雇用・労働、環境、社会保障に対する関心を高め、経済社会の一員としての意識が身に付いている。 ・消費者、労働、社会保障などについて多角的・多面的に考察し、様々な立場に立って公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	6

1月	現代の国際経済 ・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向 ・発展途上国の諸問題 ・経済協力と日本の役割	・貿易に関する基本的立場の違いを確認し、国際収支表、外国為替市場を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際経済を概観し、理解する。 ・地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し、国際経済に与える影響や課題を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解するとともに、先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。	・国際経済への関心が高まっている。 ・国際経済の課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	6
2月	・地球環境問題 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・人種・民族問題	・地球環境問題の現状と要因、影響のほか、環境保全に対する国際社会の取り組みについても理解する。 ・資源・エネルギー問題の現状と課題について理解する。 ・人種・民族問題の背景のほか、パレスチナ問題の現状と課題についても理解する。	・国際社会の政治や経済の諸課題に対する関心を高め、意欲的に課題を追究している。 ・国際社会の政治や経済の諸課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。	6
3月	・経済格差の是正と国際協力 ・国際社会における日本の立場と役割	・貧困や格差に対する国際社会の取り組みについて理解を深める。 ・国際社会における日本の政治的・経済的な役割について理解を深める。	・国際関係に関わる諸資料を適切に選択し、活用している。 ・国際社会がかかえるさまざまな課題を理解し、その知識を身に付けている。	4

都立大森高等学校 平成31年度 教科地理歴史 科目 地理A 年間授業計画

教科:地理歴史 科目:地理A 単位数: 2単位

対象学年組:第1学年A組～F組

教科担当者:(A組:今井)(B組:今井)(C組:今井)(D組:今井)(E組:今井)(F組:今井)

使用教科書:高校生の地理A(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)

使用教材:

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4 月	(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	〔位置、方位、時差〕 ・地球儀や世界地図を活用して、東京の対蹠点の位置を理解する。陸半球・水半球について理解する。 ・時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。〔日本の位置と領域〕 ・国境には自然的国境や人為的国境があることを理解する。また、我が国が当面する領土をめぐる問題や経済水域の問題について、理解する。	地球上での位置や、緯度・経度の概念を習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。	6
5 月	(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	〔自然環境と人間生活〕 ・狭まるプレート境界に地震や火山が多いことを、その構造とともに理解する。 ・世界や日本の主な地形について、その成因や人間生活との関わりを説明できる。 ・大気の大循環の仕組みを説明できるとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について理解する。また、雨温図、ハイサーグラフなどからケッペンの気候区を判別できる。	地形に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。自然環境を形成する地形について地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	6
6 月	(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	〔自然環境と人間生活〕 ・大気の大循環の仕組みを説明できるとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について理解する。また、雨温図、ハイサーグラフなどからケッペンの気候区を判別できる。	気温・降水量・風などの気候要素についての基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身につけている。ケッペンの気候区分と分布に関する地図や統計・画像など、気候に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	8
7 月	(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	〔自然環境と人間生活〕 ・大気の大循環の仕組みを説明できるとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について理解する。また、雨温図、ハイサーグラフなどからケッペンの気候区を判別できる。	ケッペンの気候区分と分布に関する地図や統計・画像など、気候に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	6

8月				0
9月	(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	〔宗教、民族と人間生活〕 ・三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。	世界の宗教の分布と宗教別人口や公用語・言語別人口を表す地図・統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。世界の諸地域にみられる言語や宗教がそれぞれの生活・文化をはぐくんできたことを理解し、その知識を身につけている。	6
10月	(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 イ 世界の生活・文化の多様性	・世界の諸地域の生活・文化について、諸資料を活用して、地形、気候をとらえるとともに、歴史的背景を踏まえて宗教、民族、農業、工業、商業、貿易、日本とのつながりなどと関連付けてとらえ、世界の多様性について理解する。また、異文化を理解し尊重することの重要性について理解する。	世界の諸地域の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。農業と鉱工業を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	8
11月	(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ウ 地球的課題の地理的考察	〔地球的課題と解決に向けた取組〕 ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを知る。	世界で起こるさまざまな環境問題の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	8
12月	(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ウ 地球的課題の地理的考察	・地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。	世界で起こるさまざまな環境問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	6

1 月	(2) 生活圏の諸課題の地理的考察 ア 日常生活と結び付いた地図	〔身の回りにある地図の収集と地形図の読図〕 ・地形図において、縮尺を用いて実際の距離や等高線から任意の地点間の標高差を求めたりすることができる。土地利用と人間生活のかかわりを理解するとともに、同じ地域の新旧の地形図を比較することで、地域の変容を理解する。 〔主題図の作成〕 ・自分の設定したテーマに沿って、土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップなどを作成することができる。	身のまわりにあるさまざまな地図とその特色に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。身のまわりにあるさまざまな地図の用途に応じた活用や、一般図と主題図の特色の違いについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	6
2 月	(2) 生活圏の諸課題の地理的考察 イ 自然環境と防災	〔我が国の自然環境の特色と自然災害〕 ・我が国の地形、気候の特色と過去に発生した主な自然災害について理解する。 〔自然災害と防災〕 ・生活圏で過去に発生した自然災害の記録やハザードマップなどから、想定される自然災害について理解する。	日本の自然環境の特徴と、起こりうる災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	6
3 月	(2) 生活圏の諸課題の地理的考察 ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	〔課題解決のための地域調査〕 ・地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。 ・調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る。	身近な地域の調査に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。身近な地域の調査方法についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	4

都立大森高校 平成31年度 年間授業計画

教科：（ 地理歴史 ） 科目：（ 世界史B ） 対象：（第2学年 A 組 ～ F 組）

単位数：3 単位

教科担当者：（ A～F組：阿部 ㊟ ）

使用教科書

高校世界史B（山川出版社）

使用教材

自作のプリント・ICT資料・『ブロムナード世界史』（浜島書店）

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	オリエンテーション ◎ヨーロッパの拡大と大 西洋世界 ・大航海時代	・ヨーロッパ人による探検の事績を地図上で確認できるとともに、大航海時代の影響として商業革命と価格革命について理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・小テスト等	9
5月	・ルネサンス ・宗教改革 ・近代主権国家の成立	・ルネサンスが人間性の解放を求め、個性を尊重しようとする文化運動で、イタリアからヨーロッパ各地に広がったことを知る。 ・カトリック教会を批判する宗教改革の運動が、ドイツからヨーロッパ各地に広がったことを知る。 ・17世紀には主権国家体制が形成され、オランダ・イギリス・フランスなどの国々が有力となったことを知る。 ・17・18世紀に、オランダ・イギリス・フランスなどか世界諸地域に進出し、重商主義に基づく経済活動と植民地争奪戦争を展開したことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・中間テスト等	4 4 6
6月	・東方の大国 ・ヨーロッパ人の進出とアメリカ・アフリカ	・農業中心の東ヨーロッパの国々でイギリスやフランスとは異なるかたちで絶対王政が展開したことを知る。 ・ヨーロッパ、西アフリカ、アメリカを結ぶ三角貿易が発達し、西ヨーロッパを中心とする大陸間分業体制が確立したことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・小テスト等	9
7月	◎産業社会と国民国家の形成 ・産業革命	・イギリスの産業革命における世界的な背景や繊維部門の技術革新、交通革命、産業資本主義の確立を知るとともに、労働運動や社会主義思想が生まれたことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・期末テスト等	9
9月	・アメリカ合衆国の独立 ・フランス革命	・18世紀における経済的変化や啓蒙思想を背景に、アメリカ独立革命、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立が相互に関連をもちながら起こり、その結果として西ヨーロッパとアメリカ合衆国に近代民主主義の基礎が成立したことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・小テスト等	6
10月	・ウィーン体制と1848年の革命 ・国民国家の建設と国際関係の変化	・ウィーン体制下で自由主義・国民主義運動が拡大し、イタリアやドイツでは国民国家の形成が促されたが、ロシアやオーストリアでは、皇帝主導の近代的改革に限界があったことを知る。 ・アメリカ南北戦争と、その後の奴隷制、人種・民族問題と、ラテンアメリカ諸国の状態を知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・中間テスト等	9
11月	・ヨーロッパの文化 ◎世界市場の形成とアジア諸国 ・ヨーロッパ諸国のアジア進出	・合理主義・経験主義を背景とした科学革命、主権国家体制を背景とした国際法、貴族社会を背景としたバロックやロココの芸術などについて知る。 ・イギリス自由貿易と、保護貿易国が対抗して市場の拡大を目指し諸地域に進出した結果、アジア諸国は伝統的な手工業や農村経済が打撃を受け、国際的分業体制に組み込まれていったことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・小テスト等	5 10
12月	・西アジアの変動 ・東南アジアの変動	・オスマン帝国が国内の民族・宗教的対立とヨーロッパ諸国の干渉で衰退していったことと一時的な改革が行われたことを知る。 ・インドではイギリスによる植民地化が進み、インド大反乱後にムガル帝国が滅亡し、イギリス支配下でインド帝国が成立したことを知る。 ・東南アジアではオランダ・イギリス・フランスによる植民地化が進み、タイのみが独立を維持したことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・期末テスト等	8
1月	・東アジアの変動	・中国においては、イギリスを先頭とするヨーロッパ諸国の進出が強まり、アヘン戦争・アロー戦争などを通じて半植民地化が進行する中で、太平天国のような民族運動や洋務運動のような近代化運動が起きたことを知る。 ・日本が、開国後明治維新を経て、ヨーロッパ文明の導入と近代化を進めたことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・小テスト等	8
2月	◎世界の分割 ・世界を支配する国々 ・アジアの民族主義と国家建設	・19世紀後期の科学技術の発達で、欧米諸国で第二次産業革命の進展を促し、企業による寡占化と資本の集中・集積が進んだことを知る。 ・欧米諸国が工業製品や資本の輸出先を求めて、世界各地に進出し、植民地や勢力圏の獲得競争を展開したことを知る。 ・欧米諸国の支配を受けたアジア・アフリカで民族意識が覚醒し、マフディー派の抵抗、義和団、インド国民会議派の運動など、ナショナリズムの運動が起こったことを知る。 ・日本では日清戦争、日露戦争を経て近代産業が成立し、不平等条約が改正されたことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・小テスト等	12
3月	・世界の一体化 ・年間のまとめ	・19世紀後半、ヨーロッパからアメリカやオセアニアへの大規模な移住が見られたことや、中国や南アジアなどから移民労働者が大量に世界の労働市場に供給されたことを知る。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 提出物・期末テスト等	3 3

都立大森高校 平成31年度 年間授業計画

単位数： 3単位

教科担当者：（A組：樋口◎）（B組樋口 ◎）（C組：樋口 ◎）（D組：樋口◎）（E組：樋口◎）（F組：樋口◎）

使用教科書

高校日本史B新訂板（実教出版）

使用教材

授業ノート、プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目（日本史）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	文化と国家の形成	旧石器文化、縄文文化、弥生文化の発展の背景の違いを理解させる 古代国家の成立の背景を理解させる。		9
5月	古代国家の確立	古代国家の成立が、大陸文化の影響を受けた律令体制が基盤にあることを理解させる。	期末テスト	9
	中世社会の成立	中世社会が武士の勢力が朝廷との関係を利用して成立したことを理解させる。		
6月	中世社会の展開	室町時代、惣村の力が強まる理由と背景を理解させる		12
	統一政権の成立	戦国大名の領国支配と信長、秀吉の天下統一の過程を理解させる		
7月		近世前期の外交を理解させる	中間テスト	6
8月				
9月	統一政権の成立	江戸幕府と藩の支配体制を理解させる		6
	幕藩体制の展開	幕府や藩が財政的に厳しくなる理由とそれに対する対応を三大改革を中心に理解させる。		
10月	大日本帝国の形成	幕末からの外国との交渉を通じて開国し、明治維新に至る過程を理解させる	期末テスト	9
11月	大日本帝国の展開	不平等条約の改正から対外戦争に至る過程を理解させる		12
12月	15年戦争と日本アジア	15年戦争に至る過程を政治や経済の面から理解させる	学年末テスト	6
1月	戦後改革と高度経済成長	戦後の復興と民主化の過程を理解させる	中間テスト	12
2月				
3月				

東京都立高等学校 平成30年度 教科 地理歴史 科目 世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史科 科目：世界史B 単位数：2単位
対象学年組：第3学年A組～F組、GH組文系
教科担当者：（A組：大嶽）（B組：大嶽）（C組：大嶽）（D組：大嶽）（E組：大嶽）（F組：大嶽）（GH組文系：大嶽）
使用教科書：（山川出版社「高校世界史B」）
使用教材：（プリント、ICT資料）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立	・帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強国の国家社会の変化を理解する。 ・帝国主義時代の欧米列強による世界カウチの分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗を変容を理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	6
6月	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	・第一次世界大戦の経過とロシア革命が国際社会に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の大きな起点となったことを理解する。 ・国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	6
7月	・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略	・東アジアや東南アジア諸国、インド、トルコ、西アジア諸国、アフリカの民族運動の展開を理解する。 世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	8
8月				
9月	第二次世界大戦	・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	6
10月	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 冷戦の激化と西欧・日本の経済復興	第二次世界大戦後、米ソとした冷戦体制と東西両陣営による国際社会の分裂を理解する。また、アジア諸地域の独立の過程を理解する。 挑戦戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興、「雪解け」によって、国際政治や経済が多極化したことを理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	6
11月	・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	・戦後に独立を達成したアジアアフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解するとともに、米・ソの関係の国際的な影響力の様相を理解する。 ・ドル＝ショック、オイル＝ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	8
12月	・社会主義世界の変容とグローバル化 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺	・東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。 ・途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	8
1月	地域紛争の激化と深刻化する貧困	世界で多発する地域紛争と同時多発テロの戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。	評価の観点 関心・意欲・態度 思考・判断・表現 技能・知識・理解 方法 提出物・考査等	6
2月				
3月				

都立大森高等学校 平成31年度 教科地理歴史 科目 地理A 年間授業計画

教科:地理歴史 科目:地理A 単位数: 2単位

対象学年組:第3学年自由選択

教科担当者:今井

使用教科書:地理A(東京書籍)、標準高等地図(帝国書院)

使用教材:

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4 月	地図の種類とその利用 1 地球儀とさまざまな地図 2 時差の求め方	地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	4
5 月	世界のエネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の利用と分布 2 鉱産資源の分布	世界のエネルギー・鉱産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	6
6 月	食料問題 1 世界の食料問題 2 さまざまな食料問題 3 日本の食料問題	食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	8
7 月	世界の工業 1 工業の発達と立地 2 世界の工業地域 3 現代世界の工業の現状と課題 4 日本の工業	世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	6

8月				0
9月	現代世界の貿易と経済圏 1 私たちの生活を支える貿易 2 現代世界の貿易の現状と課題 3 日本の貿易の現状と課題	現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	6
10月	民族と宗教 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教	民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	8
11月	民族・領土問題 1 世界の民族・領土問題 2 民族・領土から捉えた日本 3 民族と宗教の共生に向けての課題	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	8
12月	世界を結ぶ交通・通信 1 世界の交通網 2 情報と通信	世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達による一体化と地域差を考察する。	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	6

1月	現代世界と日本	現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方など	出席状況、授業中の取り組み姿勢等を重視する。	6
2月				0
3月				0

都立大森高等学校 平成31年度 教科 公民 科目 現代社会 年間授業計画

教科:公民 科目:現代社会 単位数: 2単位

対象学年組:第2学年A組～F組

教科担当者:(A～C組:大嶽)(D～F組:宮路)

使用教科書:最新 現代社会 新訂版(実教出版)

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	わたしたちの生きる社会 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・生命科学と情報技術の課題	・現代社会における諸課題、特に生命、情報、環境を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などの枠組みについて理解する。 ・生命、情報、環境などを中心に現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 ・生命、情報、環境などを中心とした現代の諸課題をどのように解決するのか、どうあるべきか、自分なりの考えを持つ。	・現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 ・現代社会の諸課題について、幸福、正義、公正などの観点から多面的多角的に考察し、いかに生きるかについて公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	6
5月	現代の社会と人間 ・青年期と自己の形成 ・自分らしく生きる	・生涯における青年期の意義を理解する。 ・第二次性徴、心理社会的モラトリアム、自我の目覚め、心理的離乳など青年期の意義について理解を深める ・葛藤や欲求不満など自己形成の課題について理解を深める	・青年期の積極的な意義を意欲的に探究しようとしている。 ・青年期の意義を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している。	6
6月	・自己形成の課題 ・自立への課題 ・人間としてよく生きる ・日本人としての自覚	・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観・職業観を含め、どのように社会参加を果たしていくのか、など自らの人間としての在り方生き方について考察する。 ・伝統や文化が日常生活に与える影響に着目し、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。	・青年期の課題を豊かな自己形成に向けて意欲的に探究しようとしている ・生涯における青年期の意義、社会参加などについて理解し、その知識を身に付けている。	8
7月	現代民主政治と日本国憲法 ・民主政治の基本原則 ・法の支配	・人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。	・国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している。	6

8月				0
9月	・日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障、平和主義について理解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。	・主権者として憲法成立過程と基本的人権、平和主義の内容を意欲的に追究しようとしている。 ・人権問題、安全保障を多面的・多角的に考察し、結果と根拠を様々な方法で表現している。	6
10月	・日本の政治機構と政治参加	・日本の立法、行政、司法の制度について理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。	・政治について考察し、政治の在り方を公正に判断し、その結果を適切に表現している。 ・主権者として判断に必要な情報を適切に選択し、活用している。 ・日本の政治制度について理解し、その知識を身に付けている。	8
11月	現代の経済社会と国民生活 ・現代の経済社会	・現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解させ、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。	・市場、経済の特質、経済政策などについて理解し、その知識を身に付けている。	8
12月	・日本経済の特質と国民生活	・政府の役割と財政、租税、金融について理解を深めさせ、日本の経済政策の方向性を考察する。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用、労働、社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	・現代の日本経済の動向や雇用・労働、環境、社会保障に対する関心が高まり、経済社会の一員の意識が身についている。 ・消費者、労働、社会保障などについて多角的・多面的に考察し、様々な立場に立って公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	6

1 月	国際社会と人類の課題 ・ 国際政治の動向	・ グローバル化が進展する国際社会の政治の動向を理解する。 ・ 国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮について理解する。 ・ 国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。	・ 国際政治への関心が高まっている。 ・ 国際政治の課題を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	6
2 月	国際経済の動向と国際協力	・ 国際社会における貧困や格差について理解する。 ・ 日本が国際社会で果たすべき役割について考察する。	・ 国際経済の時事的事象の情報を適切に選択し、活用している。 ・ 国際政治、国際経済を理解し、その知識を身に付けている。	6
3 月	共に生きる社会をめざして	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を追求する活動を通して、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。	・ 持続可能な社会の形成に対する関心を高める。 ・ 持続可能な社会に参画するという観点の課題を多角的多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	4